

備前市事務事業評価表

事務事業名	塵芥収集事業（備前地区）		コード	01-01-14-07
			担当課・係	環境課衛生係
			担当者	川崎 誠
			電話	64-1821
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目（基本施策）	生活しやすいまちづくり		
	小項目（施策）	ごみ処理		

事業について		
目的 (何のために)	備前地域で発生する一般廃棄物を適正かつ効率的に回収することにより、生活環境の保全につなげる。	
対象 (誰・何を対象に)	ごみの収集運搬を必要とする、備前地域の市民・市内事業者	
内容	備前地域において、ごみ種ごとに収集日を定め、塵芥収集車によりごみを収集する。	

事業の結果				
実施項目	17年度	18年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)	
ごみ収集量	8,183 トン	7,463 トン		
可燃ごみ収集量	7,378 トン	6,689 トン		
不燃ごみ収集量	785 トン	732 トン		
資源ごみ収集量	20 トン	42 トン		
ごみ収集日数	256 日	255 日		
事業費 (単位：千円)	事業費		財源	
	直接事業費	22,375	直接事業費	16,289
	人件費	113,375	人件費	110,253
	合計	135,750	合計	126,542

結果指標	結果指標名	ごみ収集量	ごみ収集量	
	結果指標量	8,163	7,463	
	単位	トン	トン	
	対前年比	-	91.42%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	135,750,000 円	135,750,000 円	
	単位当たりコスト	16,630 円	16,956 円	
	結果指標名	語彙収集日数	語彙収集日数	
	結果指標量	256	255	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	ごみの資源化・減量化を図ることにより、可燃ごみの収集量を削減する。		
成果指標名	1人1日あたり可燃ごみ排出量 (g)	式又は説明	可燃ごみ収集量 (g) / (人口*365日)
成果指標	17年度	18年度	
	723	666	
	対前年比	-	92.10%
	到達目標値	600	到達目標年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： 廃棄物及び清掃に関する法律)	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	関係法令等に基づき、効率的な収集に努めているが、容器包装リサイクル法等に基づく分別の細分化を検討し、実施する必要がある。平成18年10月からびんのコンテナ回収を開始し、一定の成果を収めている。さらに、平成20年4月からは、古紙の分別収集を開始予定である。またびんのコンテナ回収の拡充を図る。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> D 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	平成17年1月から開始したごみの有料化によりごみの資源化・減量化は進んできている。ごみの分別数を増やし、さらなるごみの減量化・資源化を図っていくことと、有料化により大きく変化した収集状況に即応したごみ収集日程の組みなおしが必要な時期が来ている。同時に、ごみの集積所の集約についても検討する必要がある。またごみ袋の販売収入によりごみ処理費用の確保に繋がっている。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	ごみ分別の細分化によるごみの減量化は、焼却ごみ量の減少や焼却灰を含めた最終処分量の削減に大きく貢献する。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 ごみの細分化による分別収集の拡大が急務である。限られた人員の中で業務を遂行するために、さらなる業務の効率化を図る必要がある。平成20年4月からのごみ収集方法変更に向けて、検討を行う
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 可燃ごみ量の減少 結果指標量 資源ごみ量の増加	
総合評価		

総合評価	循環型社会の形成に向け、分別収集の拡充を目指すことが求められている。さらに、分別数の増加と収集の効率化という相反する要素をバランスよく取り入れる必要がある。平成18年度については、びんのコンテナ回収を開始することができ一定の成果を収めている。今後のさらなる拡充に向けては、収集日程の再編成等を行わなければ、現有人員・車輛の中では実現不可能である。	評価区分<A~E> B
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	ごみ分別数を増やす(古紙分別収集)	H20年4月	焼却ごみの減量と資源化
効率性	ごみ収集日程の見直し	H20年4月	ごみ収集の効率化・経費節減
効率性	ごみ集積所の集約化	随時	ごみ収集の効率化・経費節減